

2008年

秋号

さざんかの郷 福祉情報誌

# ほのぼの生活

暑かった北京オリンピックの夏が終わり

「天高く馬肥ゆ」が如く いよいよ

『実りの秋』本番です!

外に出て澄みきった秋の空気を  
たくさん吸いましょう!

秋まつり



## デイサービス(本館)

### 頑張る新人スタッフ紹介コーナー



佐藤 郁美

4月からお世話になっています。まだまだ分からない事がたくさんありますが、利用者の皆様が快適にお過ごし頂けるようがんばります。



田邊 珠美

子育てで10年以上仕事をしていなかったため病院よりも、特養みたいな所で仕事がしたいと思っていました。お年寄りや話をするのが大好きで、ずっとあこがれていたところで仕事が出来て毎日がとっても楽しいです。よろしくお願いします。



小澤 恵子

淡路島から来ているので、吉川町の事は何も分かりませんが、少しでもこの地域に馴染めるように一生懸命頑張ります。



黒塚 真理

8月11日からデイサービスでお世話になっていますが、早くみなさんについて行けるようになりたいと思っています。迷惑をかける事も多いと思います。ご指導よろしくお願いします。

## 日常生活のひとこま

### 口腔ケアサービス

歯科衛生士の指導を受け「口腔機能向上サービス」に毎日取り組んでいます。利用者の皆様が、口腔の清潔を保ち、美味しい食事や会話を楽しんでいただけるように努めています。



### レクリエーション

ボランティアさんと共に



### オードリー

(三木華いすダンスの会)

### すみれの会

(みんなと一緒にカラオケを楽しむ会)

## 消防訓練



## 思い出アルバム

### 第12回さざんかの郷「夏まつり」

平成20年7月26日(土)

星空を見上げながらの第12回「夏まつり」が盛大に行なわれました。

はっぴの  
大木理事長による  
オープニングメッセージ



今年の司会は  
ヤングコンビで  
頑張りました!



日が暮れるに当たって  
アッという間に  
人・人・人!



### 室内パーザー



「子供向けパーザーの1つ  
「100円でサイコロの  
数だけ持ってけ市」  
大繁盛でした。



今年の舞台も  
盛り上がりました!



吉川町9  
今後も  
きたい

## サービス

夏は何とんでも  
お祭り山!



テーブル  
で、すごい  
してみませ



えい!

夏の風物詩、すいか割りをしました。日差しを  
して、クルクル回転していざ出陣!  
さーて、上手に割れるかな?

おやつにたこ焼きを作りました。慣れた手つきで、  
上手に竹串でクルリとひっくり返し、ハイ出来



おまはクー  
上り。ソースで食  
べる人、だして食  
べる人、どちらか  
好きな方を選んで  
「いただきます」  
す!」お味はもち  
ろん上々ですね!

## 訪問介護 仕事以外でも頑張っています!



8月22日(金)、職員研修にてヘルパー  
一同ハンドベル演奏に挑戦しました。「荒  
城の月」と「エーデルワイス」という単  
調な曲でしたが、練習中も音が揃わず  
苦戦していました。本番では音がとぶ  
ニングもありましたが、日頃のケアで培ったチームワークで楽し  
ながら終える事が出来ました。

様の前で演奏出来る機会があれば…乞うご期待!



スタッフもお年寄りもご家族も  
みんな楽しんでました!



の人口の中で、これだけの方が参加されるこの「夏まつり」を、  
容の充実をはかり、地域コミュニティづくりに貢献してい  
ます。

## 在宅介護支援センター



家でじっと閉じこもっていると、気持ちも身体  
も弱っていきますよ。

日頃から入院したり不自由な身体にならないように、時々  
でも家から出て積極的に予防していくことが大切です。

担当  
古久保さゆみ

### 在宅介護支援センターとは?

在宅介護支援センターは、おもに高齢者や介護を必要とする  
方の在宅生活におけるお困りことや、お悩みごとを一緒に解決  
していくためのお手伝いをする公的機関です。

在宅介護支援センターは、吉川町全体の高齢者福祉の向上を  
目指しています。

### どんなことするの?

- 保健・福祉サービスの相談や受付・申請代行
- 介護用品の相談・紹介
- 生きがいデイサービス
- 要介護認定の申請代行
- 地域ネットワークづくり

## こころのせんたく

『待てば海路の日和あり』

荒れ狂った海でも、いずれは陽がさし航海に適した日がやってくる。  
長い人生において、辛いことが次から次へとやってくるが、あきら  
めず辛抱強く待っていれば、いつかは必ずいい時期がやってくる。

## 満100歳おめでとうございます。

更なる年輪を刻んでください。



## 平成20年度『敬老祝賀会』

平成20年9月13日(土)

平成20年度「敬老祝賀会」が行われ、  
今年も多くのご家族と一緒に、  
お年寄りの長寿をお祝いしました。



アトラクシ  
ョンでは、  
プロ歌手  
「武たつせ」ミニ  
リサイタルで楽しんでもらいました。  
やっぱりプロはすこかったですね!



## 青色回転灯防犯パトロール車が 新しくなりました

社会福祉法人吉川福祉会の地域貢献事業の一環として【さざんかの郷】職員の有志で結成された特定非営利活動（NPO）法人「ゆずり福祉会」の、防犯パトロール車が新しく生まれ変わりました。昨年度から中吉川小学校区内の19地区とみなぎ台を中心に、学童の登下校時間帯に毎日巡回パトロールを実施しており、最近では、東吉川や上吉川地区までエリアを広げて運行することもあります。温かいご理解とご協力を宜しくお願い致します。

(旧パトロール車)



(新パトロール車)

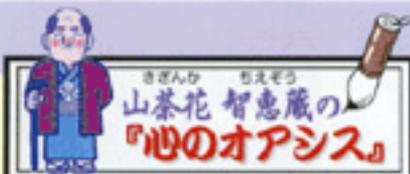


## 管理栄養士 淳ちゃんからの 頑張る新人スタッフ紹介



### 藤田 忠臣

この度、志染町より来ました藤田忠臣です。日々、まわりの皆さんに助けをいただきながら一生懸命に業務に励んでいます。どうぞヨロシクお願いします。



## 「変化に立ち向かう姿勢」

長い人生において「同じ調子でやっていけるはずだと思っていたのに、急にだめになる」というのは、誰でも経験することですが、その最も大きな原因は、外の環境が変化していくことにあります。人間は個人においても「生老病死」という変化がありますが、外の環境も変化していきます。「常に同じように、一本調子に成功し続けよう」としか考えられない人は、外の変化を認めようとしません。自分も、外の環境も必ず変化していくものであり「これは成功の終わりでもなく、単なる苦難でもなく、新たな出発の時ののだ」と感じ取らなくてはいいと思います。一つの分野に精力を傾け、能力を傾けて成功しても、次の局面では別の能力が必要となってきます。逆境はその人に、運命の次の局面が始まっていることを告げているのです。

「長く成功していきたい。良い仕事を長く続けていきたい」と思うならば、苦難を恐れず、自分に欠けている部分を補い、新しい自分となって再出発して行こうという心構えが必要です。新しい局面に対応することを「よし」として受ける勇気があるか、それとも「夢よ、もう一度」で同じ歌を歌いたがるか、ここが人生の一つの分かれ目となるのではないのでしょうか。人間の死亡率は100%ですが、今のままの人生でほんとうに悔いは残らないのだろうか、読書の秋、一面のコスモスを見ながら時々考えてみてはいかがでしょうか。

## ケアハウス

### ご家族とはじめての「夏まつり」



平成19年秋にケアハウスに入居され、今日が初めての「夏まつり」でした。もうすっかり生活に慣れてこれ、ご家族もその姿に安心されていました。盛大なお祭りを楽しんで過ごされているほのぼののショットです。



## ショートステイ(短期入所)

### 一度お泊り体験をされてはいかがでしょうか？

さざんかの郷では、ショートステイ(短期入所)サービスを実施しています。

ショートステイ(短期入所)サービスとは、介護者が忙しい時、疲れている時、一時的に高齢者の方に(基本的には要介護認定を受けておられる方)泊りで利用して頂くサービスです。

例えば、農繁期、冠婚葬祭、旅行、介護者の入院、お孫さんの出産等々理由で御利用いただいております。最初は法々来られた高齢者様も時間が過ぎるうちに、お知り合いも増え、お食事、入浴等楽しくお過ごしです。行ってみたら、幼なじみやご近所さんにばったりなんて事もあります。ご希望があれば、ひとり不安な夜を過ごされず、是非一度、ショートステイ(短期入所)サービスを御利用ください。一泊二日から御利用いただけます。お気軽にご相談ください。

平成20年4月～6月  
地域別利用者数

吉川町	東吉川 ……7名
	中吉川 ……11名
	上吉川 ……10名
	みなぎ台 ……3名
回吉川町	…6名
細川町	…4名
その他の三木市	…4名
加東市	…5名
その他	…2名

## 三木市回吉川町・細川町の探検ツアー



細川町[瑞穂観光ふどう園]で  
美味しいぶどうを満喫!

今度は何処へ行こうかな?ぶどう園の方には、机やイスを用意して頂いたりお世話になりました。本当にありがとうございました。

♪広～いぶどうの木の下で♪



## 初参加「吉川町民ソフトボール大会」

地域との交流と職員間の親睦を目的に、初めて参加しました。猛暑での2試合は本当に大変でしたが、とても楽しかったので、来年は2勝めざして頑張ります!



神戸新聞掲載  
(平成20年8月3日付)